

令和2年度事業報告書

はじめに

令和2年度の定時総会については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い原則書面議決で実施し、会合自体は全シ協からの通知もあったことから縮小して実施をしたところです。事業運営については、引き続きコンプライアンス(法令順守)、ガバナンス(組織統治)、透明性、公開性を基本に据え、取り組みました。

シルバー人材センターを取り巻く環境も、消費低迷、低成長下の経済情勢に加え、民間事業者、NPO、地域福祉団体等のシルバー類似事業への参入などもあり、厳しい経営環境になってきています。

令和2年度は全国的にコロナ禍の中で、各センターとも厳しい財政運営となったと思いますが、当センターにおいても受託事業・派遣事業ともに昨年度実績を下回りました。派遣事業については、宿泊・観光・飲食サービス業を中心に契約の打ち切りや派遣人数の縮小などもあり、特に上半期の実績では対前年度比で16.5%減でかなり落ち込みました。しかし、下半期において大手企業への新規派遣などもあり、最終的には4.3%減まで持ち直したところです。受託事業については、除草業務を中心に5.1%の減少となりました。受託事業は、派遣事業ほどコロナ禍の影響を直接的に受けてはいないものの、やはり経済情勢の悪化はマイナス要因となっていると考えられ、加えて会員の高齢化や減少等により実績が下がったものと思われま

す。また、収支状況において、平成27年度から平成30年度にかけて4年間赤字決算が続

き、合計で4千万円近く正味財産を減らしたところであり、財政再建が喫緊の課題となり、人件費縮減をはじめ緊縮財政の取り組みや移転補償費等経常外収益により令和元年度16,005千円増となり、令和2年度に公益目的事業分の剰余金を財政運営資金積立金として積み立てることができました。令和2年度決算における剰余金も含め、今後も厳しくなることが見込まれる受託事業収益の補填やまだ不透明ですが令和5年度に導入が予定されているインボイス制度による財政負担が生じた場合における財源措置として当該資金の効果的運用を図ることも想定しておかなければなりません。そのためにも、今後も引き続き財政の健全化に努めていかなければならないと考えております。

そして、シルバー人材センターを支える会員については、令和2年度において、950人から944人へと6人、率にして0.6%減少する結果となりました。会員募集については、入会説明会の積極的な開催、県連合会と連携及び独自で開催した技能講習会、新聞折込チラシ等によるPR、及び役員、会員による声かけ等により増加対策には努めていますが、退会者が入会者を上回る結果となりました。令和2年度も女性会員が15人増加し、前年度に引き続き同じ傾向となりました。今後、女性が中心となる保育園等での就業など子育て支援分野など女性が就業できる場の確保など積極的に努めていく必要性を感じます。

また、当センターの独自事業である刃物砥ぎ、B級野菜市及び空き家点検サービスなども当センターの普及啓発にも繋がるよう取り組んでいきたいと考えます。

表1 令和2年度の主な業績

(単位:千円)

項目	R2年度 実績 a	R元年度 実績 b	H30年度 実績	H29年度 実績	比較 a-b
受注金額(千円)	414,638	435,836	405,582	423,194	-21,198
内 請負・委任(千円)	298,511	314,451	310,641	342,684	-15,940
内 派遣(千円)	116,127	121,385	94,941	80,510	-5,258
年度末会員数(名)	944	950	901	901	-6
事故件数(件)	18	21	29	22	-3
単年度収支(千円) ^(注1)	6,568	16,005	-12,555	-15,656	-9,437
正味財産期末残高(千円)	42,198	35,630	19,625	32,180	6,568

(注1)単年度収支は、ここでは、経常収益から経常費用を控除した額(当期一般正味財産増減額)をいいます。

表2 センターの決算状況(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
事業収入	424,159	412,428	377,711	350,086	319,058	325,406	309,899
補助金収入	37,448	33,907	28,681	25,100	26,672	26,472	26,472
その他収入	5,132	4,361	3,462	2,899	2,793	10,298	2,834
収入計	466,739	450,696	409,854	378,085	348,523	362,176	339,205
事業費支出	422,018	417,906	371,711	342,327	307,966	304,897	328,012
管理費支出	37,739	35,251	47,135	51,414	53,115	41,274	4,624
支出計	459,757	453,157	418,846	393,741	361,078	346,171	332,636
単年度収支	6,982	-2,462	-8,991	-15,656	-12,555	16,005	6,568
正味財産残高	59,290	56,828	47,837	32,180	19,625	35,630	42,198

上表のように令和2年度において単年度収支で+6,568千円になったのは、昨年度以降引き続き人件費の縮減が継続していること、コロナ禍においても、受託収入や派遣事業受託収益の減少が予想よりかなり低く抑えられたのが要因と考えられます。

以下に、事項別に実施状況を報告します。

1 請負・委任業務及び派遣業務の受注実績

センターの受注形態は、請負、委任、派遣の3つがあります。

令和2年度実績は、請負・委任受注額は、前年度より減少(対前年比-5.1%)し、派遣受注額については、新型コロナウイルス感染拡大による観光・宿泊、飲食サービス業を中心として経済状況の悪化により減少(対前年比-4.3%)結果となりました。このように、今年度は請負・委任業務及び派遣業務共に減少し、令和2年度受注額全体では、414,638千円で、これは、令和元年度の435,836千円と比較すると受注額で-21,198千円、率で-4.9%となりました。

表3 請負・委任(受託)業務と派遣業務を合算した月別の受注金額(単位：千円)

月	R2年度	R2年度		R元年度	H30年度	H29年度	H28年度
		内受託	内派遣				
4月	25,221	17,343	7,878	29,675	27,197	29,540	27,016
5月	34,448	27,684	6,764	40,044	36,894	43,335	37,345
6月	42,668	35,084	7,584	41,927	38,580	43,570	45,209
7月	40,678	32,258	8,420	51,554	43,460	44,344	49,474
8月	37,685	28,754	8,931	35,197	35,259	39,885	39,943
9月	37,710	28,811	8,899	42,998	36,572	42,593	38,895
10月	46,838	36,818	10,020	45,762	43,016	44,420	45,983
11月	41,312	29,525	11,787	43,615	42,098	41,546	41,042
12月	33,541	19,053	14,488	33,952	31,046	29,958	32,341
1月	21,085	11,350	9,735	21,957	21,101	18,772	19,918
2月	21,188	11,215	9,973	19,644	21,229	17,450	20,123
3月	32,266	20,619	11,647	29,511	29,130	27,779	29,129
合計	414,638	298,511	116,127	435,836	405,582	423,194	426,417

(1) 請負・委任(受託)業務の受注実績

令和2年度の請負・委任業務の契約金額は298,511千円で、対前年度比は、金額で-15,940千円、率で-5.1%でした。対前年度比の発注元別金額の内訳は、公共が+4,035千円で7.6%増、民間事業所が-7,290千円で6.2%減、一般家庭が-12,685千円で8.8%減となっています。

適正受注・適正就業の厳格運用の基本方針により、随時、請負・委任から派遣へ切り替えてまいりました。平成29年度まででほぼ完了し、平成30年度には1件の切り替えを行い、令和元年度以降はありませんでした。

また、民間事業者、NPO、地域福祉団体等が実施する生活支援サービス業務と競合するところもあり、その影響は少なからずあったと考えられます。

なお、受注件数の対前年度比較で、請負業務の2本柱である除草業務で267件の減、剪定業務で68件の減となっています。特に除草業務は、平成30年度から見積方式の見直しにより受注から作業に入るまでの時間がかかりかかるといったことも影響し、見直し前の平成29年度の実績と比較すると件数で1,302件の減、契約金額で17,189千円の減となっており、見積調査のデータベースはかなり増えてきていますが、実績がなかなか回復しない状況となっています。会員の就業機会も減少しており、今後もデータベースを活用し、できるだけスピーディーに作業に入れるよう、また全般的に見積金額も高騰しており、その単価の見直しも考慮して受注回復に努めていかなければなりません。課題を引き続き検証し、より多くの受注を確保できるように工夫していく必要があります。

表4 請負・委任(受託)業務の月別の受注金額(単位：千円)と件数

月	R2年度	R2年度件数	R元年度	H30年度	H29年度
4月	17,342	549	19,548	20,285	23,624
5月	27,684	774	30,464	29,530	36,744
6月	35,084	1,118	33,028	31,747	37,558
7月	32,258	953	41,375	36,422	38,250
8月	28,754	914	25,102	28,447	33,982
9月	28,811	830	33,806	29,294	36,037
10月	36,817	1,044	34,744	35,273	36,599
11月	29,525	869	32,938	33,217	33,804
12月	19,053	737	20,949	20,078	20,646
1月	11,350	290	12,207	13,169	12,489
2月	11,214	405	10,651	13,493	11,684
3月	20,619	543	19,641	19,686	21,267
計	298,511	9,026	314,451	310,641	342,684

表5 請負・委任(受託)業務発注元別の受注金額(単位：千円)と割合

発注元 年度	公共		民間事業所		一般家庭		計	
	金額	割合%	金額	割合%	金額	割合%	金額	割合%
R2年度	57,355	19.2	109,579	36.7	131,577	44.1	298,511	100
R元年度	53,320	17.0	116,869	37.2	144,262	45.8	314,451	100
H30年度	51,836	16.7	119,810	38.6	138,995	44.7	310,641	100
H29年度	50,148	14.6	133,851	39.1	158,685	46.3	342,684	100
H28年度	48,433	12.9	163,601	43.8	161,728	43.3	373,762	100
H27年度	50,901	12.3	200,707	48.7	160,665	39.0	412,273	100
H26年度	54,888	13.0	205,852	48.5	163,355	38.5	424,095	100
H25年度	57,979	13.5	209,580	48.7	162,749	37.8	430,308	100
H24年度	73,703	16.9	198,071	45.4	164,351	37.7	436,125	100
H23年度	107,209	21.2	221,712	43.7	177,759	35.1	506,680	100

表6 請負・委任(受託)業務の作業種ごとの受注額(単位：千円)と件数

作業種	除草	剪定	屋外清掃	障子襖	屋内清掃	検針	農林作業
受注額(千円)	83,087	72,562	36,908	26,147	20,541	12,924	8,763
件数	2,315	2,525	902	1,176	713	78	239
平均単価(円)	35,891	28,737	40,918	22,234	28,809	165,692	36,665

作業種	建物管理	大工仕事	屋外雑役	家事援助	屋外施設管理	物品管理	畳工事
受注額(千円)	5,865	4,437	4,220	3,990	2,892	2,070	2,053
件数	39	141	132	224	36	12	33
平均単価(円)	150,385	31,468	31,970	17,813	80,333	172,500	62,212

作業種	配達	その他外務	その他管理・監視	建物一部管理	屋内雑役	調査事務	その他
受注額(千円)	1,948	1,197	1,050	1,015	968	759	5,113
件数	25	12	12	24	22	2	364
平均単価(円)	77,920	99,750	87,500	42,292	44,000	379,500	14,047

受注総額：298,511千円、受注総件数：9,026件、平均請負単価33,072円

(2) 派遣業務の受注実績

令和2年度の派遣業務の受注額は116,127千円で、対前年度比は、金額で-5,258千円、率で-4.3%でした。コロナ禍の中で、観光・宿泊・飲食サービス業等を中心に派遣契約の打ち切りや派遣人員の縮小などで、上半期の事業実績は対前年比で-16.5%となっていました。下半期において大規模事業所からの受注をはじめ、新規契約や派遣中止になっていた事業所との契約再開などにより実績が伸び、最終的に-4.3%で収まりました。今後、ワクチン接種が順調に進み、経済活動がコロナ禍以前の状況に回復してくれば、おのずと実績は伸びていくと考えられます。

表7 令和2年度 派遣事業月別の受注金額(単位：千円)と件数

月	R2年度	R2年度件数	R1年度	H30年度	H29年度	H28年度
4月	7,878	107	10,127	6,912	5,916	2,787
5月	6,764	87	9,580	7,364	6,590	3,320
6月	7,584	93	8,900	6,833	6,012	3,379
7月	8,420	103	10,179	7,038	6,094	3,218
8月	8,931	115	10,095	6,812	5,903	3,368
9月	8,899	114	9,192	7,278	6,556	3,576
10月	10,020	111	11,017	7,743	7,822	4,176
11月	11,787	130	10,678	8,881	7,742	5,149
12月	14,488	139	13,003	10,968	9,312	7,769
1月	9,735	122	9,750	7,932	6,284	5,615
2月	9,973	121	8,993	7,736	5,766	4,747
3月	11,647	126	9,869	9,444	6,512	5,553
計	116,127	1,278	121,385	94,941	80,510	52,656

表 8 派遣契約件数の状況

年度	契約件数(件)	派遣期間別契約件数			
		1か月未満	1か月以上 3か月未満	3か月以上 6か月未満	6か月以上
R2年度	305	65	72	53	115
R1年度	319	102	60	45	112
H30年度	269	113	43	19	94
H29年度	224	95	32	20	77
H28年度	110	24	26	21	39

2 会員の状況

令和2年度末(R3.3.31)の会員数は、944名(男609名、女335名)で、令和元年度末(R2.3.31)の950名(男630名、女320名)と比較し、6名(男21名減、女15名増)の減となりました。内訳は、新入会員133名(男66名、女67名)、退会会員139名(男87名、女52名)となっています。

表 9 地域別会員登録状況(単位：人、3.31現在)

地域	年度	性別			地域	年度	性別		
		男性	女性	合計			男性	女性	合計
出雲	R2年度	267	187	454	平田	R2年度	110	38	148
	R1年度	276	174	450		R1年度	123	36	159
	H30年度	263	144	407		H30年度	120	37	157
	H29年度	265	133	398		H29年度	124	41	165
大社	R2年度	63	35	98	斐川	R2年度	138	58	196
	R1年度	67	34	101		R1年度	133	63	196
	H30年度	66	29	95		H30年度	132	66	198
	H29年度	66	34	100		H29年度	136	63	199
河南	R2年度	31	17	48	合計	R2年度	609	335	944
	R1年度	31	13	44		R1年度	630	320	950
	H30年度	31	13	44		H30年度	612	289	901
	H29年度	28	11	39		H29年度	619	282	901

表 10 年齢別・男女別会員登録状況(単位：人、3.31現在)

年齢	60-64		65-69		70-74		75-79		80-84		85-		合計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
R2	人数	31	31	155	89	241	138	132	55	40	20	10	2	609	335	944
	割合	3.3	3.3	16.3	9.4	25.4	14.5	13.9	5.8	4.2	2.1	1.6	0.2	64.5	35.5	100.0

年齢		60-64		65-69		70-74		75-79		80-84		85-		合計		
性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
R1	人数	43	34	156	80	240	122	145	65	40	18	6	1	630	320	950
	割合	4.5	3.6	16.4	8.4	25.4	12.8	15.3	6.8	4.2	1.9	0.6	0.1	66.3	33.7	100.0
H30	人数	46	28	166	79	224	111	130	57	41	14	5	0	612	289	901
	割合	5.1	3.1	18.4	8.8	24.9	12.3	14.4	6.3	4.6	1.6	0.6	0.0	67.9	32.1	100.0
H29	人数	54	23	192	84	210	103	130	55	30	16	3	1	619	282	901
	割合	6.0	2.6	21.3	9.3	23.3	11.4	14.4	6.1	3.3	1.8	0.3	0.1	68.7	31.3	100.0

表 11 職群別会員登録状況(単位：人、3.31 現在)

区分	年度	技術群	技能群	事務整理群	管理群	折衝外交群	一般作業群	サービス群	その他	計
男	R2	59	210	67	154	106	470	36	0	1,102
	R1	65	220	69	164	112	483	31	0	1,144
	H30	75	217	70	149	101	464	32	0	1,108
	H29	77	215	63	146	100	468	24	0	1,093
女	R2	5	19	46	6	36	287	170	2	571
	R1	6	16	48	6	33	273	161	2	545
	H30	3	16	40	7	26	246	138	3	479
	H29	3	19	36	7	24	237	129	3	458
計	R2	64	229	113	160	142	758	206	2	1,674
	R1	71	236	117	170	145	756	192	2	1,689
	H30	78	233	110	156	127	710	170	3	1,587
	H29	80	234	99	153	124	705	153	3	1,551
割合 (%)	R2	3.8	13.7	6.8	9.6	8.5	45.2	12.3	0.1	100.0
	R1	4.2	14	6.9	10.0	8.6	44.8	11.4	0.1	100.0
	H30	4.9	14.7	6.9	9.8	8.0	44.8	10.7	0.2	100.0
	H29	5.2	15.1	6.4	9.9	8.0	45.5	9.9	0.2	100.0

表 12 会員数等の推移(単位：人、3.31 現在)

年度	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
男	609	630	612	619	610	588	585
女	335	320	289	282	277	267	270

年度	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
男女計	944	950	901	901	887	855	855
対前年度比	99.4	105.4	100.0	101.6	103.7	100.0	93.5
対前年度増減	-6	49	0	14	32	0	-59
平均年齢(男)	72.8	72.3	72.1	71.6	71.5	71.2	71.3
平均年齢(女)	71.6	71.6	71.4	71.7	71.2	71.2	70.8
平均年齢(男女)	72.4	72.1	71.9	71.6	71.4	71.2	71.1

年度	H25	H24	H24	H23	H22	H21	H20	H19
男	616	697	697	840	882	905	873	838
女	298	318	318	377	408	446	466	437
男女計	914	1015	1015	1217	1290	1351	1339	1275
対前年度比	90.0	83.4	83.4	94.3	95.5	100.9	105.0	90.0
対前年度増減	-101	-202	-202	-73	-61	12	64	-142
平均年齢(男)	71.1	70.7	70.7	70.1	69.9	69.8	69.9	69.6
平均年齢(女)	70.8	70.5	70.5	69.8	69.6	69.3	68.9	68.6
平均年齢(男女)	71.0	70.0	70.0	69.8	69.6	69.5	69.3	69.1

3 就業開拓の取組

(1) 地域を越えた就業の促進

受注の現状を考慮すると、「請負・委任事業」だけでの増額は難しいことから、「派遣事業を含めた全事業」での増額を目指していくこととしました。地域を越えた就業については、会員に、より多くの就業機会を提供できるように事務局内で会員情報を共有してマッチングの効率を高めることとし、また、繁忙期の応援体制については、移動距離等に配慮し、会員負担の少ない隣接地域での対応を図ってきました。

(2) 女性部会の活動

平成30年3月2日に設立した女性部会は、センター女性会員相互の就業に係る経験・知識の研鑽や情報交換を行い、就業の促進及び会員の増加を図ることとしていますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、4月に定例会を開催しただけでした。

表13 令和2年度 女性部会委員名簿

地区	氏名	備考	地区	氏名	備考
出雲	高見 修子		出雲	片岡 美紀恵	
出雲	加藤 和代		出雲	今岡 恵美子	
出雲	永瀬 弥生		斐川	岡田千恵子	
出雲	富田 美代子		斐川	川島 涼子	
出雲	青木 つや子		多伎	土井地 理恵	
出雲	伊藤 喜久子				

任期：原則として2年間

表 14 女性部会委員による定例会開催状況

(3) 出雲市生活支援体制整備推進協議体への参画

出雲市が平成 28 年度に設置した『出雲市生活支援体制整備推進協議体』の会議は、新型コロナウイルス感染拡大のため、令和 2 年度は開催されませんでした。

(4) 独自事業の実施

令和 2 年度も独自事業として「刃物砥ぎ」、「B 級野菜市」及び「空き家点検サービス」を実施しました。

① B 級野菜市

「B 級野菜市」は、毎週水曜日の午前中、センター事務所駐車場を会場に開催しました。この野菜市での販売は、野菜、手工芸品及び未使用のギフト品等で、運営は出品者、役員、事務局職員が協力して行いました。

② 刃物砥ぎ

B 級野菜市と同じく毎週水曜日の午前中にセンター前で包丁、刈込はさみ等を

開催日	内容	出席者数	場所
第 1 回(4/16)	① 令和 2 年度事業の内容検討	11 名	センター

取り扱っており、2 名の会員が交代で実施しました。

③ 空き家点検サービス

空き家点検サービスは、出雲市内でも増加傾向にある空き家の管理について事業化することができないかを検討した結果、発注者から依頼のあった空き家を訪問し、目視による点検を行い、報告書と請求書を郵送する方法で実施するものです。市役所の「空き家」担当課と連携し、市役所に問い合わせがあればこの事業を紹介してもらうほか、センターのホームページへも掲載し周知を行いました。なお、空き家にかかる除草、剪定等の業務は、別途請け負っております。

独自事業の売上実績は次表のとおりです。(単位：円)

表 15

	刃物砥ぎ	B 級野菜市	空き家点検	合計
R2.4 月	3,497	44,170	0	47,667
5 月	13,107	24,210	0	37,317
6 月	8,568	21,860	1,850	32,278
7 月	9,598	52,110	0	61,708
8 月	11,852	46,890	0	58,742
9 月	14,534	39,815	5,550	59,899
10 月	5,518	39,680	1,850	47,048
11 月	7,014	33,260	1,850	42,124
12 月	4,917	28,350	3,700	36,967
R3.1 月	9,247	23,430	1,850	34,527
2 月	0	21,770	1,850	23,620

3月	10,920	31,630	3,700	46,250
計	98,772	407,175	22,200	528,147

(5) 生涯現役促進地域連携事業

生涯現役促進地域連携事業について、実施主体となる「出雲市生涯現役促進協議会」の構成団体として参画しています。令和2年度は、「医療・福祉分野」に重点を置いて取り組まれ、内容としては、高年齢者を対象とした就労等に関するニーズ調査、企業等のニーズ調査、企業等への訪問、企業を対象とした高年齢者人材活用セミナー、高年齢者就労・就業促進セミナー、相談会、支援員による個別相談、広報等を実施しました。企業へのニーズ調査や支援員の企業訪問により情報等収集を行い、派遣事業の開拓等につながるよう取り組みました。令和2年度は、コロナ禍の中、感染予防対策を取りながら実施しました。

4 会員拡大の取組み

(1) 入会説明会の開催

毎週水曜日に入会説明会をセンターで開催しました。222名の説明会参加者に対し、約60%の133名の入会がありました。

表 17 入会説明会参加者及び入会者(R2.4~R3.3)

表 17-1 説明会参加者

地域	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出雲	135	7	2	6	10	9	23	15	17	8	4	20	14
平田	23	2	1	1	0	1	2	2	5	2	2	2	3
河南	15	0	2	0	0	0	2	2	2	4	0	2	1
大社	12	1	0	0	0	1	1	1	4	1	0	2	1
斐川	37	3	1	1	1	3	4	8	6	0	0	4	6
合計	222	13	6	8	11	14	32	28	34	15	6	30	25

表 17-2 説明会参加者の内入会者

地域	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出雲	74	12	3	5	7	4	0	19	3	9	2	10	0
平田	14	4	0	1	0	1	0	4	0	2	1	1	0
河南	12	2	2	1	0	0	0	3	0	4	0	0	0
大社	7	3	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0
斐川	26	9	1	1	0	1	1	8	1	2	0	1	1
合計	133	30	6	8	7	6	1	35	5	19	3	12	1

(2) 賛助会員

令和2年度の賛助会員は、64の事業所及び個人(会費:1口3千円)でした。就業機

会及び会員確保の貴重な窓口になることから、今後とも可能な限り連携を図ってまいります。

表 18 賛助会員一覧(五十音順)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社島根支店出雲支社，アルファー食品株式会社，出雲大社，出雲ガス株式会社，板倉酒造有限会社，医療法人永樹会吉岡医院，医療法人沖縄徳洲会出雲徳洲会病院，医療法人吉翔会吉直整形外科クリニック，医療法人壽生会，イワタニ山陰株式会社出雲支店，介護老人保健施設ケアセンターかんど，株式会社あい保険パートナーズ，株式会社アリオン，株式会社出雲総合卸売市場，株式会社出雲村田製作所，株式会社ウシオ，株式会社栄徳，株式会社香り芽本舗，株式会社コスモス，株式会社小林冷蔵，株式会社山陰一畑クッキング，株式会社多伎振興，株式会社田中種苗，株式会社電協コーポレーション，株式会社F I C小竹原出雲営業所，株式会社ホンダカーズ出雲，株式会社松文オフテック出雲営業所，株式会社ミック出雲支店，株式会社やまもと，株式会社吉川製作所，久文建設株式会社，漁業協同組合J Fしまね大社支所多伎出張所，山陰セキスイ商事株式会社，三洋自動車有限会社，島根印刷株式会社，島根県農業協同組合出雲地区本部，島根県農業協同組合ラピタ本店，島根島津株式会社，島根中央信用金庫，島根電工株式会社出雲支店，社会福祉法人出雲南福祉会ケアハウス寿生の郷，社会福祉法人きづき会特別養護老人ホームいなさ園，社会福祉法人ひまわり福祉会，宗教法人出雲教，須田金物，清和鉄工株式会社，ダイイチ株式会社，中国労働金庫出雲支店，特定非営利活動法人出雲スポーツ振興21，特別養護老人ホームるんびにい苑，富士酒造合資会社，山下壮一，有限会社アスプラン，有限会社出雲フォークリフト，有限会社オフィスヒストリィ，有限会社カーショップダンドン，有限会社門脇商店，有限会社協同サービス，有限会社江陽印刷，有限会社スズキ販売出雲，有限会社スタニ刃物，有限会社斐川農協自動車整備工場，有限会社マルフ興産，料理仕出しつねまつ 合計 64(企業・団体 63 事業所、個人 1 人)

(3) 新規入会者の就業相談

地域ごとに新規入会者の面接を実施し、就業条件、適性、個々の様子などを聞き、具体的な就業先を紹介しました。

(4) 未就業会員の就業相談

未就業会員を対象とした就業相談は、面談及び電話によって随時実施しています。今後も定期的に電話連絡を行い、現状把握をするとともに就業の斡旋を行い、就業率の向上に努めてまいります。

表 19 地域別未就業会員数(3.31 現在、単位：人)

年度	区分	出雲	大社	平田	斐川	河南	合計
R2 年度	未就業会員数	95	15	20	29	9	168
	会員数	454	98	148	196	48	944
R1 年度	未就業会員数	75	17	21	25	11	149
	会員数	450	101	159	196	44	950
H30 年度	未就業会員数	71	12	18	17	6	124
	会員数	407	95	157	198	44	901
H29 年度	未就業会員数	71	12	18	17	6	124
	会員数	398	100	165	199	39	901

表 20 未就業会員の年齢構成(3.31 現在、単位：人・%)

年度	年齢	60-64 歳	65-69 歳	70-74 歳	75-79 歳	80 歳以上	合計
R2 年度	人数	17	59	59	25	8	168
	割合%	10.1	35.1	35.1	14.9	4.8	100
R1 年度	人数	19	50	49	25	6	149
	割合%	12.8	33.5	32.9	16.8	4.0	100
H30 年度	人数	16	44	30	24	4	118
	割合%	13.6	37.3	25.4	20.3	3.4	100
H29 年度	人数	20	43	35	22	4	124
	割合%	16.1	34.7	28.2	17.8	3.2	100

表 21 未就業の主な理由(単位：人)

年度	就職中	病気	互助会活動	就業可能	その他	合計
R2 年度	78	21	1	26	42	168
R1 年度	60	26	3	23	37	149
H30 年度	53	16	3	34	12	118
H29 年度	51	22	10	26	15	124

(5) 技能講習会受講者への入会促進

派遣労働の就業及び会員拡大を目的に県連合会と連携して実施した技能講習会(福祉施設補助スタッフ・学童保育補助スタッフ育成講習)受講者、またセンター独自で実施した子育て支援スタッフ、清掃スタッフ育成講習及び襖・障子張替講習受講者を対象に、面談及びアフターフォローを行い、入会を勧め、加入につなげました。その他、県事業で産前産後訪問サポーター研修を実施しました。

5 安全就業の取組

(1) 安全巡回パトロールの実施

安全巡回パトロールを5月から10月にかけて計9回実施し、29か所の就業現場で安全保護具装着の指導や就業現場の危険個所の点検などを行いました。

(2) 安全就業研修会の開催

草刈作業に就業している会員を対象に刈払機実地講習会を出雲地域と斐川地域の2ヶ所で開催し28名が参加しました。出雲市森林組合で講習・教育の経験がある会員講師により刈払機の取扱いや飛び石事故防止等について実地研修をしました。

開催日：10月22日（木）14：00～16：00 出雲 21名

開催日：10月27日（火）14：00～16：00 斐川 7名

(3) 安全就業推進大会の開催

令和2年度の安全就業推進大会はビッグハート出雲で開催し、島根大学名誉教授塩飽邦憲先生による講演を行い、会員の事故防止について安全意識の向上を図りました。

開催日：令和3年3月10日（水）14：00～15：30

場 所：ビッグハート出雲 参加者数：48名

表 22 安全就業推進大会開催状況

大会名	開催日	出席者数	場 所	内 容
第26回	R3. 3. 10	48名	ビッグハート出雲	講演「労働災害防止と新型コロナ対策」 講師：塩飽邦憲(島根大学名誉教授)
第25回	R2. 2. 28	62名	パルメイト出雲	講演「作業の安全について」 講師：米田育郎(労働安全コンサルタント)
第24回	H31. 2. 28	88名	出雲市民会館	講演「老いても元気に社会参加」 講師：塩飽邦憲(島根大学名誉教授)
第23回	H29. 11. 30	60名	斐川文化会館	講演「作業の安全について」 講師：米田育郎(労働安全コンサルタント)
第22回	H29. 9. 26	45名	パルメイト出雲	講演「老いても元気に社会参加」 講師：塩飽邦憲(島根大学名誉教授)
第21回	H28. 11. 28	83名	平田文化館	講演「老いても元気に社会参加」講師： 塩飽邦憲(島根大学名誉教授)
第20回	H28. 8. 26	72名	パルメイト出雲	講演「交通安全について」 会員による意見・体験発表
第19回	H27. 11. 27	89名	斐川文化会館	講演「交通安全について」 会員による意見・体験発表
第18回	H27. 8. 28	89名	パルメイト出雲	寸劇「安全就業について」 ヒヤリ・ハット体験の収集
第17回	H26. 11. 27	68名	パルメイト出雲	寸劇「交通安全指導」
第16回	H25. 12. 13	78名	出雲体育館	救急講習「応急手当について」 出雲市消防署

(4) 安全ニュースの提供

安全ニュースについては、事務局便りの紙面を活用し、安全就業基準の順守、安全パトロールでの指摘事項や全シ協の安全就業ニュースの中から事故事例の紹介などについて掲載し、注意喚起を行いました。

(5) 70歳到達運転会員及び80歳到達会員の面接

運転業務に就業中の満70歳に達した会員(対象者75名)及び満80歳に達した会員(対象者81名)で引続き就業を希望する会員について、健康面・安全面について面接審査しました。結果は、いずれの会員も良好でした。

(6) ヒヤリ・ハット体験の情報収集と活用

ヒヤリ・ハット体験について、会員から募集しましたが、応募がありませんでした。

(7) シルバー保険

就業中の傷害事故や賠償事故の補償のためにシルバー団体傷害保険及び賠償責任保険に加入しました。令和2年度には、11件の保険請求を行い、11件の給付を受けました。

(8) 事故発生状況

令和2年度の事故の発生件数は18件で、前年度に比べ3件減少しました。内訳は、請負・委任業務の就業中の傷害事故が3件、賠償事故が14件、就業途上の事故が0件でした。また、派遣業務の就業中の労災事故が1件、物損事故が0件でした。

表 23 事故件数の推移

年度	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
傷害事故	3	8	11	2	11	6	7	4
就業途上事故	0	1	3	2	0	4	0	1
賠償事故	14	9	13	17	15	12	23	11
派遣労災事故	1	2	1	0	1	0	0	0
派遣物損事故	0	1	1	1	1	0	0	0
合計	18	21	29	22	28	22	30	16

表 24 事故の発生状況について

(1) 傷害事故(発生件数：3 件)

No.	発生日時, 地域, 性別 別年齢, 受注件名	事故の状況	程度
1	3/30 (月) 14 : 30 出雲, 男, 72 歳 溝掃除	溝掃除の際に、スコップで地上より 1 m 程度低い溝の下部から地上に向かって腰を捻りながら泥を持ち上げたところ腰を痛めた。	通院 13 日
2	9/16 (水) 10 : 00 斐川, 男, 77 歳 剪定作業	剪定作業中に、伐採する樹木に蜂の巣があり、出てきた蜂に刺された。	通院 1 日
3	9/16 (水) 10 : 00 斐川, 男, 71 歳 剪定の片付作業	上記の発注先で伐採する会員と同時に片付作業をする会員も蜂に刺された。樹木を伐採する為にロープを結んで引っ張っていた。	通院 1 日

(2) 賠償事故(発生件数：14 件)

No.	発生日, 地域, 性別, 年齢, 受注件名	事故の状況	保険種類 修理金額 (円)
1	3/10 (火) 9 : 30 出雲, 男, 66 歳 剪定作業	樹木剪定後のゴミ回収作業の際に、荷を積んで敷地外へ出ようとした時に、タイヤがスリップし、はまって抜け出せなくなった。	車両保険 25,300 円
2	3/19 (木) 13 : 30 平田, 男, 71 歳 剪定作業	樹木剪定後のゴミ回収作業の際に、道路脇の側溝にタイヤが脱輪して抜け出せなくなった。	車両保険 3,000 円
3	3/19 (木) 12 : 35 出雲, 男, 64 歳 公園施設点検業務	センター公用車を使用して公園の施設点検中に、対向車に道を譲るため、バックして端に寄せた際に、隣接するブロック塀に助手席サイドミラーを接触させた。ブロック塀と車両に損傷等はなく修理は不要だった。	0 円
4	6/3 (水) 9 : 00 斐川, 男, 72 歳 除草剤散布	空き地の除草剤散布をした際に、霧状の薬剤が流されて、田んぼの稲の苗にかかり枯れた。	賠償保険 24,000 円
5	6/7 (日) 13 : 00 多伎, 男, 71 歳 草刈作業	刈払機を使用して草刈作業中に、小石を跳ねて敷地内の建屋のガラスを破損させた。	賠償保険 31,350 円
6	7/30 (木) 11 : 00 斐川, 男, 77 歳 草刈作業	草刈作業中に刈払機で石を跳ねて、走行中の車両の運転席側のドアガラスを破損させた。	賠償保険 23,650 円

No.	発生日, 地域, 性別, 年齢, 受注件名	事故の状況	保険種類 修理金額 (円)
7	7/31 (金) 11:00 大社, 男, 68歳 剪定作業	剪定作業中に、庭木全体(形)を見るために、隣の駐車場で後ろ向きで移動していたが、駐車スペース毎に設置してある契約者名入りの看板(アクリル製)に接触して転倒した。その際にその看板を割ってしまった。	賠償保険 8,800円
8	9/21 (月) 12:30 平田, 女, 67歳	和式便所を清掃中、水を流した際に、ポケットに入れていた用具倉庫のカギを便器内に落としてしまい、下水に流れたと思われる。	賠償保険 8,030円
9	9/22 (火) 10:00 斐川, 男, 80歳 剪定作業	剪定作業中に枝を切り落とした際に、門柱灯に接触してカバーガラスを破損させた。	賠償保険 70,400円
10	9/23 (水) 16:00 斐川, 男, 75歳 剪定作業	剪定作業が終了して帰宅する際に、軽トラック(自家用車)を発進させたが、隣との境界にあるブロック塀に接触して破損させた。	会員の車 両保険 40,000円
11	11/19 (木) 11:30 斐川, 男, 76歳 広報文書配達業務	広報文書を自家用車の軽バンに積むため、バックで入り口の近くに駐車しようとしたが、テールゲートを開けていたことを忘れていたため、入り口ドアの窓ガラスに接触して破損させた。	会員の車 両保険
12	12/8 (火) 8:30 出雲, 男, 79歳 草刈作業	刈払機を使用して草刈作業中に、小石を跳ねて駐車中の車両の運転席側ドアガラスを破損させた。	賠償保険 31,570円
13	1/26 (火) 9:00 出雲, 男, 74歳 剪定作業	樹木の剪定作業中、樹木の枝(直径15cm程度)を切って地上に落として際に、その樹木の近くに設置してある散水栓に接触して破損させ、水が漏れて止まらなくなった。	賠償保険 33,000円
14	11/17 (火) 11:45 出雲, 男, 66歳 剪定屑の回収作業	ごみ回収車で剪定ごみを積み終えて、敷地外へ出ようとした際に曲がり切れると思ってハンドルを切りながら前進したが、目測を誤っていたため、前方にあるコンクリートブロックに接触した。	車両保険 55,660円
合計金額			354,760円

(3) 労災事故 派遣 (発生件数：1件)

No.	発生日時, 地域, 性別年齢, 受注件名	事故の状況	程度
1	10/13 (火) 16:00 斐川, 男, 63 歳 プレハブハウスの 清掃作業 (派遣)	プレハブハウスの1階部分の樋を、脚立に上って、水道ホースを手に持ち水を掛けながらブラシで掃除をしていた。作業が終わって脚立を降りる際に、最後の一段目を踏み外して転倒した。水道ホースは転倒する時に手から離して、受け身を取ったが、右側の胸が地面に接触した。	通院2日

6 適正就業の取組

- (1) 適正就業基準に関する要綱第4条第1項第1号(臨時的かつ短期的な就業は月10日程度以内)及び第2号(軽易な業務に係る就業は、週20時間を超えない)に基づき、出雲地域391人及び斐川地域175人の会員を対象に1年間(令和元年9月～令和2年8月)の就業状況を調査し、出雲地域で19人、斐川地域で8人が基準を超過していることが判明したため、その要因を調査し、改善対策を検討しました。
- (2) 適正就業基準に関する要綱第4条第1項第3号(同一発注者の施設管理業務、検針業務等については、同一会員の就業は5年を限度とする)に基づき調査し、対象となる5職種について、さっそく事務局だより2月号で募集し、応募のあったものについて、就業に向けた説明会や面談等を行い、見習い期間を設けた上で就業可能な会員に交代するよう進めました。なお、応募のない施設や応募はあったが、就業に至らなかった施設については現在就業中の会員に引き続き就業させることにしました。

7 普及啓発の取組

- (1) チラシの配布
会員募集チラシを作成し、9月、3月の2回、市の方を通じて、これまでの町内回覧から、より効果が期待できる全戸配布に切り替えました。
- (2) 会員向け情報提供
会員向け情報提供は、「事務局だより」(毎月発行)と「理事会便り」(理事会開催月の翌月発行)の二つの方法で行いました。
- (3) ハローワーク出雲の相談窓口で60歳以上の求職者に会員募集チラシ、また求人事業所にはシルバー派遣事業のチラシを配付してもらうよう依頼しました。雇用保険説明会については、新型コロナウイルス感染拡大のため中止になりました。
- (4) ホームページの活用
ホームページは、会員及び発注者に対する情報共有・提供手段としてきわめて有効です。理事会だよりを更新するとともに、事務局便りも、毎月更新しました。また、会員への情報発信の一つとして、就業募集一覧も公開し、毎月更新しています。今後も掲載情報をより豊富にするとともに情報の最新化に努めてまいります。

8 地区班

(1) 地区班会議の開催状況

地区班会議を地域毎に開催し、センターからの報告と会員からの質問及び意見交換等を実施しました。

表 26 令和 2 年度 地区班会議の開催状況 (単位：人)

月日	地域	地区班名	班員数	出席者数	出席率	理事	事務局
1/21	斐川	荘原 1	20	1	5%	高見理事長 馬庭常務 高野理事	福島補佐
		荘原 2	17	0	0%		
		荘原 3	21	3	14%		
		出東	26	4	15%		
		出西	39	2	5%		
		伊波野	29	3	10%		
		直江	37	3	8%		
		久木	12	2	17%		
		小計	201	18	9%		
1/25	平田	平田	24	4	17%	高見理事長 馬庭常務 原理事 土江理事	勝田係長
		灘分	24	3	13%		
		国富	35	5	14%		
		久多美	25	2	8%		
		東	32	2	6%		
		佐香	12	2	17%		
		小計	152	18	12%		
1/28	出雲南部・西部・大社	塩冶・古志	81	6	7%	高見理事長 馬庭常務 長廻副理事長 川上理事	松井主任 須山職員
		南部	32	2	6%		
		神門	43	4	9%		
		長浜・神西	29	3	10%		
		湖陵・佐田	29	2	7%		
		田儀	8	2	25%		
		岐久	11	0	0%		
		杵築北東	9	1	11%		
		杵築南西	33	1	3%		
		荒木	31	0	0%		
		遙堪	21	0	0%		
		日御碕	6	0	0%		
		小計	333	21	6%		
1/29	出雲中央・北部	今市	43	1	2%		
		大津	49	3	6%		

月日	地域	地区班名	班員数	出席者数	出席率	理事	事務局
		高松	55	3	5%	高見理事長	高橋課長
		四絡	47	3	6%	馬庭常務	
		高浜	20	1	5%	高橋副理事長	
		川跡・鳶巣	51	2	4%		
		小計	265	13	5%		
		合計	951	70	7%		

(2) シルバーの日ボランティア活動

10月のシルバー普及啓発月間のボランティア活動については、各地区班で自主的に実施してもらいました。

表 27 令和2年度 地区班世話人名簿(令和2年4月1日現在)

地域	地区班名：世話人氏名(計27名)
出雲	塩冶・古志：佐々木進次、原俊夫 高松：中島健二、元田恵子 四絡：福島勲 川跡・鳶巣：高橋充男 南部：西村実成 神門：宮里訓夫 長浜・神西：布野良市、小川勇
大社	杵築北東：荒木茂久 杵築西・南：川合敏正 荒木：米原忠夫 遙堪：黒田治視 日御碕：永見新吉
平田	平田：加納秀夫、日野光男
多伎	田儀：川上雄平 岐久：内田武
湖陵・佐田	湖陵・佐田：安食富夫、吉川康夫
斐川	荘原2：高本芳樹 伊波野：野津富吉、今岡宏 直江：高野郁夫、佐藤正美 出東：尾原時夫

9 第4次中期5か年計画のローリング

第4次中期5か年計画について、令和2年度もローリングをかけ、現状を踏まえて見直しをしました。

令和2年度において、特定資産として財政運営資金積立資産12,520千円の積立てを行い、今後の財政状況が悪化した場合の補填分として確保したところです。令和2年度決算においても、収支状況は+6,568千円となり、期末正味財産残高は42,198千円となり比較的安定した財政状況となりました。今後も資金計画、予算執行の状況確認のため作成している資金繰表でチェックしながら、安定した財政運営に努めていかなければなりません。

令和2年度も事業実績の動向や傾向を踏まえ、「第4次中期5か年計画」の次の中期事業計画を策定し、中期事業基本計画推進委員会(理事会)において検討していきます。

10 会議

(1) 総会

第 10 回(通算第 45 回)定時総会(R2. 6. 2、出雲市シルバー人材センター)

来賓：無し

報告：令和元年度収支補正予算、令和 2 年度事業計画及び収支予算

議案：令和元年度事業報告・収支決算・監査報告、理事長への権限委任

表 28 総会出席状況

総会名	開催日	出席者数	議決書面	委任状	会場
第 45 回(定時総会)	R2. 6. 2	14	643	0	シルバー人材センター
第 44 回(定時総会)	R1. 5. 30	103	378	113	ビッグハート出雲
第 43 回(定時総会)	H30. 5. 30	117	425	76	ビッグハート出雲
第 42 回(定時総会)	H29. 6. 6	129	354	104	ビッグハート出雲
第 41 回(定時総会)	H28. 6. 7	115	229	121	ビッグハート出雲
第 40 回(臨時総会)	H27. 8. 28	89	272	162	パルメイト出雲
第 39 回(定時総会)	H27. 5. 28	158	-	365	ビッグハート出雲
第 38 回(臨時総会)	H27. 2. 3	141	-		ビッグハート出雲
第 37 回(定時総会)	H26. 5. 28	149	-		ビッグハート出雲
第 36 回(通常総会)	H25. 5. 27	141	-		ビッグハート出雲
第 35 回(通常総会)	H24. 3. 27	177	-		ビッグハート出雲

(2) 理事会

理事会は、4 月、5 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月、3 月の 8 回定例会を開催しました。

第 1 回(R2. 4. 21、センター、理事 9 名中 9 名出席、監事 2 名中 2 名出席)

報告：事業実績、業務報告、令和元年度第 1 回補正予算の修正報告、正味財産増減計算書における収支状況(3 月末現在)及び資金繰表、「同一労働・同一賃金」への対応状況、令和 2 年度事務分担表

議事：正会員の承認

協議：令和 2 年度定時総会、財政見込

第 2 回(R2. 5. 8、センター、理事 9 名中 8 名出席、監事 2 名中 2 名出席)

報告：業務報告、定例監査結果報告書、島根県シルバー人材センター連合会の補欠理事候補者推薦書

議案：正会員の承認、公益社団法人出雲市シルバー人材センター令和元年度事業報告及び収支決算・監査報告並びに第 10 回(通算第 45 回)定時総会の書面議決

第 3 回(R2. 6. 17)センター、理事 9 名中 9 名出席、監事 2 名中 2 名出席)

報告：事業実績、業務報告、定時総会の結果、監査の実施、島根県シルバー人材センター連合会の補欠理事の決定、生涯現役令和元年度事業報告、作業班(職群班)の現状

議案：正会員の承認、財務規程の一部改正、役員報酬等及び費用に関する規程の一部改正

協議：財政見込

第4回(R2.8.18)センター、理事9名中9名出席、監事2名中2名出席)

報告：事業実績、業務報告、定例監査結果報告書、正味財産増減計算書における収支状況及び資金繰表、出雲市シニア調査結果報告書(生涯現役事業)

議案：正会員の承認

協議：財政見込

第5回(R2.10.20)センター、理事9名中9名出席、監事2名中2名出席)

報告：事業実績、業務報告、正味財産増減計算書における収支状況及び資金繰表、今後の委員会、講習会等の予定

議案：正会員の承認

協議：財政見込

第6回(R2.12.15、センター、理事9名中9名出席、監事2名中2名出席)

報告：事業実績、業務報告、定例監査結果報告書、正味財産増減計算書における収支状況及び資金繰表、令和2年度地区班会議

議案：正会員の承認

協議：次期役員改選に向けてのスケジュール、令和2年度事業計画の実施状況及び令和3年度事業計画(案)、財政見込

第7回(R3.2.16、センター、理事9名中9名出席、監事2名中2名出席)

報告：事業実績、業務報告、定例監査結果報告書、正味財産増減計算書における収支状況及び資金繰表、令和2年度地区班会議出席状況

議案：正会員の承認

協議：令和3年度事業計画(案)及び収支予算書(案)、財政見込

第8回(R3.3.11、センター、理事9名中8名出席、監事2名中2名出席)

報告：事業実績、業務報告、安全就業委員会の開催結果、適正就業委員会の開催結果、第1回役員立候補管理委員会の開催結果、資金繰表

議案：正会員の承認、職員給与規則の一部改正、専門員雇用規則の制定及び嘱託職員雇用規則、臨時職員規則の廃止、役員立候補管理委員会委員の選任、令和2年度第1回補正予算、令和3年度事業計画(案)及び収支予算書(案)、特定費用準備資金の保有

その他：B級野菜市役員当番表

表29 令和2年度 理事・監事名簿

役職	氏名	所属委員会(○印は、委員長)	就任
理事長	高見英明	適正就業委員会、中期事業基本計画策定推進委員会	R1.5
副理事長	長畑國夫	○理事・監事候補者選考委員会、中期事業基本計画策定推進委員会	H21.5
副理事長	高橋充男	○適正就業委員会、中期事業基本計画策定推進委員会、理事・監事候補者選考委員会	H26.5
常務理事	馬庭 隆	中期事業基本計画推進委員会、	R1.5

役職	氏名	所属委員会(○印は、委員長)	就任
理事	原 重利	○安全就業委員会、中期事業基本計画策定推進委員会、理事・監事候補者選考委員会	H27.5
理事	高野郁夫	安全就業委員会、中期事業基本計画策定推進委員会、理事・監事候補者選考委員会	H27.5
理事	日野光男	適正就業委員会、中期事業基本計画策定推進委員会	R1.5
理事	土江広敏	中期事業基本計画策定推進委員会	R1.5
理事	川上雄平	中期事業基本計画策定推進委員会	R1.5
監事	加納千久		H27.5
監事	宇田 弘		R1.5

任期：令和元年5月30日から令和3年度定時総会終了まで

(3) 委員会

安全就業委員会、適正就業委員会について、下記のとおり委員会を開催し、協議を重ねました。また、中期事業基本計画推進委員会の所管事項については、理事会の中で協議を行いました。

表 30 令和2年度 委員会開催状況

表 30-1 安全就業委員会

会議名と開催日	委員出席者	事務局出席者
第1回委員会(R2.5.12)	原重利、高野郁夫、高橋恒夫、水師末富	高見理事長、馬庭常務理事 福島補佐
第2回委員会(R2.10.14)	原重利、高野郁夫、高橋恒夫、水師末富	高見理事長、馬庭常務理事 福島補佐
第3回委員会(R3.1.15)	原重利、高野郁夫、高橋恒夫、水師末富	高見理事長、馬庭常務理事 福島補佐
第4回委員会(R3.3.5)	原重利、高野郁夫、高橋恒夫、水師末富	高見理事長、馬庭常務理事 福島補佐
第1回70歳到達運転会員面接会(R3.2.15)	原重利、高橋恒夫	福島補佐
第2回70歳到達運転会員面接会(R3.2.17)	高野郁夫、水師末富、	福島補佐
第3回70歳到達運転会員面接会(R3.2.18)	原重利、高橋恒夫	福島補佐
第1回80歳到達会員面接会(R3.2.24)	高野郁夫、水師末富	福島補佐
第2回80歳到達会員面接会(R3.2.25)	高野郁夫、高橋恒夫	福島補佐
第3回80歳到達会員面接会(R3.2.26)	原重利、水師末富	福島補佐

表 30-2 適正就業委員会

会議名と開催日	委員出席者	事務局出席者
第1回委員会(R3.1.18)	高橋充男、日野光男、鶴原清、中島絹夫	高見理事長、馬庭常務理事 福島補佐

会議名と開催日	委員出席者	事務局出席者
第2回委員会(R3. 2. 22)	高橋充男、日野光男、鶴原清、中島絹夫	高見理事長、馬庭常務理事 福島補佐

表 30-3 中期事業基本計画推進委員会

会議名と開催日	委員出席者	事務局出席者
第1回委員会 (R2. 10. 20 理事会)	長廻國夫、高橋充男、原重利、高野郁夫、日野光男、土江広敏、川上雄平	高見理事長 馬庭常務理事
第2回委員会 (R2. 12. 15 理事会)	長廻國夫、高橋充男、原重利、高野郁夫、日野光男、土江広敏、川上雄平	高見理事長 馬庭常務理事
第3回委員会 (R3. 2. 16 理事会)	長廻國夫、高橋充男、原重利、高野郁夫、日野光男、土江広敏、川上雄平	高見理事長 馬庭常務理事
第4回委員会 (R3. 3. 11 理事会)	長廻國夫、高橋充男、原重利、高野郁夫、日野光男、土江広敏、川上雄平	高見理事長 馬庭常務理事

(3) 理事及び監事候補者選考委員会

令和2年度は案件がなく、開催していません。

(4) 監査会

令和2年度も、四半期ごとの開催を基本とし、4月、7月、10月、1月の計4回の定例監査会と総括監査会(R2. 5. 7、令和元年度会計対象)を1回の、合わせて5回の監査会を開催しました。なお、事務局では、指摘された事項については、可及的速やかに改善措置をとるようにしています。

表 31 令和2年度 定例監査会での指摘事項

定例監査会	主な指摘事項
第1回(R2. 4. 22)	<ul style="list-style-type: none"> ・3/31 現在の貸借対照表の「仮受金」残高に△25,000円が計上されていたが、正しくは「仮払金」で計上すべきであること ・未就業者が増えれば、配分金等に不平や不満が生じ、ひいては入会に対する迷いや脱会を招くことになる
第2回(R2. 7. 17)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員会費未納者の管理において、特に年度末と次年度の扱いが複雑となるので、その都度反映できる方法に改善すること
第3回(R2. 11. 5)	<ul style="list-style-type: none"> ・特に指摘事項なし
第4回(R3. 2. 2)	<ul style="list-style-type: none"> ・受取材料費に対する材料費差額の割合が高いので改善が必要であること

11 規程等の整備状況

公益社団法人としての基本の定めが定款で、いわばシルバーの「憲法」ともいえるものですが、組織経営・事業運営をするうえでは、より詳細な取り決めが必要となります。これが各種の規約、規程、規則、要綱などで、実務は、これらの規程等に依拠して行わ

れます。しかし、規程等が欠けていたり、内容が不備のままであったりしては日常業務を適切に行うことはできません。

センターの規程等については、必要なものが制定されていない、長年放置され必要な改正等が行われていない、規程等の中での用語や記述・表記に整合性を欠くものがあるなど不備な状況となっていました。

こうしたことから、逐次、規程等の制定・改廃を行ってまいりましたが、未整備の規程等がまだあることから引き続き、適切な法制環境の整備に努めてまいります。

表 32 センターの現行規程等一覧（令和3年4月1日現在）

分類	規程等の名称	最初施行日	最終施行日
1 定款	1 定款	H25. 4. 1	H27. 2. 3
2 総規	2 顕彰規程	H17. 4. 1	H28. 4. 1
2 総規	5 個人情報保護に関する規程	H18. 4. 1	H18. 4. 1
2 総規	6 規程等の整備に関する規程	H27. 12. 8	H27. 12. 8
2 総規	7 特定個人情報事務取扱規則	H28. 1. 1	H28. 1. 1
2 総規	8 特定個人情報取扱基本方針	H28. 1. 1	H28. 1. 1
2 総規	9 個人情報保護基本方針	H28. 1. 1	H28. 1. 1
2 総規	10 情報公開に関する規程	H29. 4. 1	H29. 4. 1
3 会員	1 会員の就業規約	H17. 4. 1	H28. 6. 7
3 会員	2 配分金規約	H17. 4. 1	H28. 6. 7
3 会員	5 会員会費規約	H28. 6. 7	H28. 6. 7
4 役員	1 理事及び監事候補者選考要綱	H17. 4. 1	H23. 10. 1
4 役員	3 役員の報酬等及び費用に関する規程	H25. 4. 1	R2. 6. 17
4 役員	4 執行役員会開催要項	H27. 10. 29	H27. 10. 29
4 役員	5 役員立候補の手續に関する規約	H28. 6. 7	H28. 6. 7
4 役員	6 役員立候補管理委員会要綱	H29. 3. 14	H29. 3. 14
5 総会	1 総会運営規約	H28. 6. 7	H28. 6. 7
6 理事会	1 理事会運営規程	H27. 8. 11	R1. 8. 20
6 理事会	2 理事会傍聴規則	H27. 8. 11	H27. 8. 11
7 組織	1 地区班組織設置要綱	H17. 4. 1	H28. 12. 13
7 組織	10 地区班会議開催要項	H27. 10. 13	H27. 10. 13
7 組織	13 安全就業の基準に関する要綱	H28. 4. 1	H28. 4. 1
7 組織	14 適正就業の基準に関する要綱	H28. 4. 1	H28. 4. 1
7 組織	15 作業別安全就業基準に関する要領	H29. 2. 14	H29. 2. 14
7 組織	16 委員会設置規程	H28. 7. 12	H28. 7. 12
7 組織	17 地区班交付金規則	H30. 1. 15	H30. 1. 15
7 組織	18 女性部会規程	H30. 1. 15	H30. 1. 15
7 組織	19 作業班に関する要綱	H31. 4. 1	H31. 4. 1
8 事務	1 財務規程	H17. 4. 1	R2. 6. 17

分類	規程等の名称	最初施行日	最終施行日
8 事務	4 事務処理運営要綱	H17. 4. 1	H17. 4. 1
8 事務	6 旅費規程	H17. 4. 1	H17. 4. 1
8 事務	7 事務費規程	H25. 4. 1	H31. 4. 1
8 事務	8 補助金等交付規則	H27. 4. 1	H27. 4. 1
8 事務	9 委員会委員の報酬及び旅費の支給に関する規則	H27. 8. 11	H29. 3. 14
8 事務	10 事務規程	H27. 10. 13	H29. 4. 1
8 事務	11 事務局業務の一部を会員に依頼する場合の取り扱いに関する要項	H27. 11. 1	H30. 7. 9
8 事務	12 特定費用準備資金等取扱規程	H28. 3. 8	H28. 3. 8
8 事務	13 会議出席者に対する報酬及び旅費の支給に関する規則	H28. 7. 12	H28. 7. 12
8 事務	14 センター所有車両運行管理規程	H30. 4. 1	H30. 4. 1
8 事務	16 除草請負業務に係る見積基準及び施工等単価に関する規則	H30. 4. 1	R1. 10. 1
8 事務	17 損害賠償事案処理事務手数料徴収規則	H30. 4. 1	H30. 4. 1
8 事務	18 B級野菜市開催要項	H30. 4. 1	R1. 8. 20
8 事務	19 空家等点検サービス実施要項	H30. 4. 1	H31. 4. 1
9 職員	1 職員就業規則	H17. 4. 1	H29. 3. 14
9 職員	2 職員給与規則	H17. 4. 1	R3. 4. 1
9 職員	8 専門員雇用規則	R3. 4. 1	R3. 4. 1
9 職員	8 嘱託職員雇用規則	H28. 4. 1	R2. 3. 31 廃止
9 職員	9 臨時職員規則	H28. 6. 14	R2. 3. 31 廃止
9 職員	10 職員退職手当要綱	H28. 6. 14	H28. 6. 14
9 職員	11 職員採用試験規程	H28. 6. 14	H28. 6. 14
9 職員	12 パート職員規則	H28. 6. 14	H28. 6. 14
9 職員	13 高年齢事務局長の採用等に関する規則	H28. 6. 14	H30. 6. 1
9 職員	14 職員福利厚生要綱	H28. 6. 14	H28. 6. 14

12 事務局

「適正就業ガイドライン」による除草請負業務の見積基準に基づく見積調査実施のため2名の臨時職員を雇用しました。

派遣事業の実績が大きく伸びてきて、契約する事業所数も約80社となり、現行人員の中で派遣事業の体制を強化し業務を推進しました。

厳しい財政状況を打開することと、適正就業を徹底していくことの両立を図ることは大変なことですが、業務全般を考慮し、適宜、事務分担を見直していくなど、効率的な事務執行に努めてまいりました。来年度も引き続き、組織体制について検証し、見直すべきところは見直し、事務局運営の更なる改善を図っていきます。

表 33 令和 2 年度 職員名簿

役職名	氏名
事務局長	常務理事兼務 馬庭隆(管理課長事務取扱)
業務課長	高橋正樹
管理課課長補佐	福島勉(兼業務課長補佐)
業務課職員	勝田善富(兼管理課)係長、松井秀美(兼管理課)主任
嘱託職員	坂根秀樹、青木祐美、芦田美千代
臨時職員	持田清次、吉田正弘、細田恵子、藤江廣一、中筋千香子 ⇒須山宏幸、坂根洋二、渡部利雄
嘱託職員(生涯現役促進協議会へ出向)	吉田功、兒玉光弘、竹田博

以上